

新市長就任インタビュー

広告

企画・制作 建設未来通信社広告部



次世代につなぐ誇りあるまちへ 新たなステージを皆と共にまい進

常陸太田市 藤田謙二 新市長に聞く

就任の抱負

常陸太田市長に就任し、市政のかじ取り役を担うことになった。「少子化人口減少対策」「人が輝くまちづくり」「行政改革」の6本の柱を中心に、次世代へとつなぐ誇りある常陸太田市を築いていきたい。

市長選挙の際には共に投票権を持つ「安心・安全なまちづくり」「行政改革」の2つをキヤッコとして掲げていた。市政を円滑に進めながら、市民の皆さま、民間事業者が連携して、車の両輪のように協力して前進していくことが重要となる。皆さんと共に、常陸太田市の新たなステージに向けてまい進していく。

市は現在重点事業として、市道0139号線整備事業、東部土地区画整理事業、新総合体育館整備事業の3つのプロジェクトを進めている。市民の皆さまに事業について十分で分かりやすく説明するなど、事業を進めている。

市道0139号線の整備について、常陸太田市と日立市をつなぐ市道0139号線、真弓トンネルの整備は2018年度から事業に着手し、29年度の完成を目指して事業を進めている。今後は引き続き道路本路線が開通することに

つながり、新たな地域資源の開拓を促すことができる。多くの人の命に繋がる重要な道路となる。

東部土地区画整理事業について、常陸太田市に進出している企業等について、現在はC街区2区画とD街区の1区画を残すのみとなっている。今後も引き続き、空いている区画とD街区の1区画を残していく。また、路線の重要性等について市民に向けた説明の場を設け、多くの市民の皆さまに理解いただけるよう努めしていく。

改良工事や橋梁工事等を進め、27年度からトンネル工事を着手目標に事業を進めていく。また、路線の重要性等について市民に向けた説明の場を設け、多くの市民の皆さまに理解いただけます。

常陸太田市は県内では上位に入る。しかし、道路改良率や舗装率は県の平均を下回っているのが現状であるため、市道の計画的な改修が安全に利用できるよう、整備が必要と判断したう、広域的な施設利用を図っていく。

常陸太田市は県北内陆積を有する市であり、道路の延長路線数も県内では上位に入る。また、基幹道路である国道293号、国道349号、国道461号、脇骨道路の整備について、市では毎年整備を行っている。基幹道路の整備に向けて、今後も引き続き要望活動を行っていく。

また、常陸太田市上下水道耐震化計画を策定し、26年度から上水道について2ヶ月に亘り工事を実施している。常陸太田市上下水道耐震化計画を見込んでいます。常陸太田市

26年度から管路耐震化着手

とにかく、老朽化した管路等の計画的な整備を進めています。

自然災害への対応について

これまで、高度医療体制の整備、容易になり、救急率の向上が図られ、市民の通勤環境改善が図られる一方で、シティプロモーション推進にも力を注いでまいります。市には自然や

災害時の避難路としての活用が期待できる。また、東部土地区画整理事業地へのアクセス向上による都市間交流の活性化で経済面への効果も見込めるなど、まさに命と暮らしをつなぐ重要な道路と言える。

進歩状況としては、2

19年の台風第19号で被災した際に、地元建設業界の皆さまに協力いただき、迅速な復旧工事と災害ごみの運搬をしていただいた。

災害発生時に早期対応でき、今後も建設業界の皆さまに協力してほしい。

災害発生時に早期対応でき、今後も建設業界の皆さまに協力してほしい。

災害発生時に早期対応でき、今後も建設業界の皆さまに協力してほしい。

災害発生時に早期対応でき、今後も建設業界の皆さまに協力してほしい。

災害発生時に早期対応でき、今後も建設業界の皆さまに協力してほしい。

災害発生時に早期対応でき、今後も建設業界の皆さまに協力してほしい。

5月18日に行われた常陸太田市長選挙で、初当選を果たした藤田謙二市長。市道0139号線や東部地区の官民連携施設、新総合体育館の整備を進めるほか、シティプロモーションの推進にも力を注いでいる。市民と職員民間事業者と「共に誇りある常陸太田市を築いていきたい」と語る藤田市長に、就任にあたっての抱負や重点事業の進捗について、建設業界への思いなどを聞いた。

プロフィール

▼藤田謙一(ふじた・けんじ)

1965年7月13日生まれ。60歳。県立太田第一高等学校、中央理容専門学校卒。2010年8月から4期にわたり常陸太田市議会議員を務め、22年には市議会議長に就任した。座右の銘は「有言実行」。

そのほか、災害発生時に一時的な避難所として利用できるよう富の郷工業団地締結するなど、安心・安全なまちづくりに向けて尽力していく。

公平公正が大前提ではあるが、できる限り地元事業者に発注できるようにと考

えている。地元事業者がしっかりと地元で継続していけるよう、市としても総合評価制度を活用するなど、地元事業者へ優先的に発注できるような方法を模索していく。

また、年度末に工事が集中しないよう、早めの発注を心がけていく。

建設業界へのメッセージ

建設業界の高騰

人件費や資材価格の高騰

また、災害発生時の迅速な復旧対応にご支援いただき

な復旧対応にご支援いただき

な復旧対応にご支援いただき

な復旧対応にご支援いただき

な復旧対応にご支援いただき

私どもは社会资本整備を通して、地域の活性化と市政発展に尽力いたします

常陸太田市建設防災協議会

会長(理事) 根本 敬久(株根本工務所)
副会長(理事) 井坂 陽介(株)井坂組
〃 小林 信昭(株)小林建設
〃 梅原 基弘(株)梅原工務店
〃 後藤 一憲(株)後藤工務店

副会長(理事) 宇野 光雄(有)宇野建材
理事 小林 啓繁(日立商事株)
〃 飛田 純一(有)飛田組
〃 宇野 泉(会沢建設株)
〃 岡田 寿浩(株)岡田建設

理事 生田目勝義(有)生田目工務店
〃 小祝 亨(株)八丈建設
〃 助川 弘通(有助川工務店)
監事 石井 貴之(有)石井建設
〃 篠原 光(有)丸勝建設

【会員】(有)会沢土建 (有)櫻村工務店 (株)ジオ常陸
(有)石橋土木 (株)河北開発 (株)柴田工務店 (株)世紀開発
(有)宇野建設 (有)黒澤組 (株)水府工務店 (株)瀬谷建設
大木建設(株) (株)小池住建 (株)鈴木組 (株)瀬谷テック
常陸建設(株) (株)吉沢工務店
大光建設(株) (株)立原建設
常陸建設(株) (株)中央建設
常陸建設(株) (株)富岡工務店